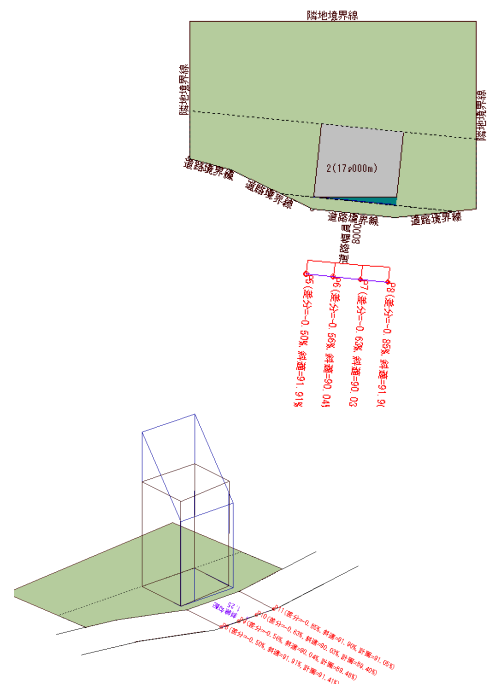
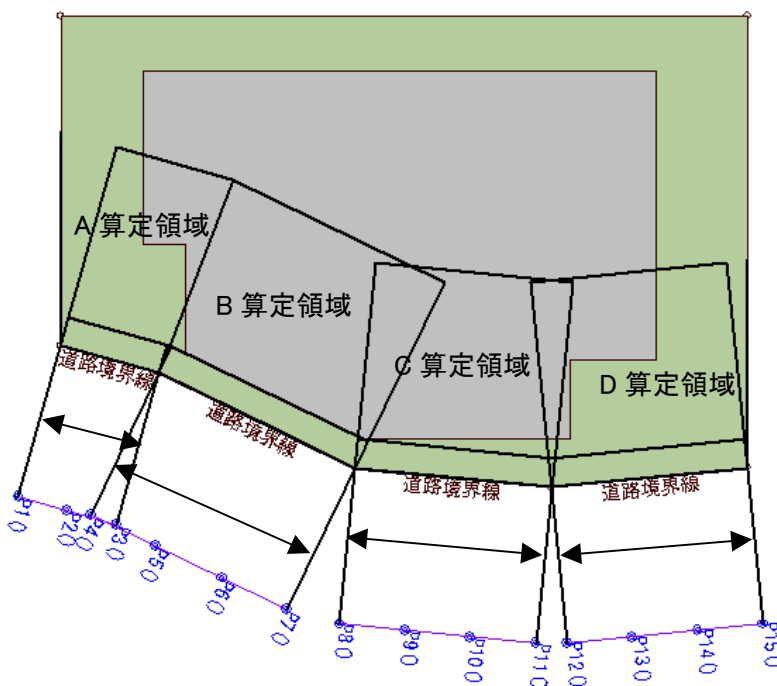
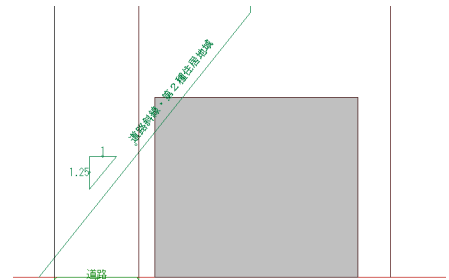
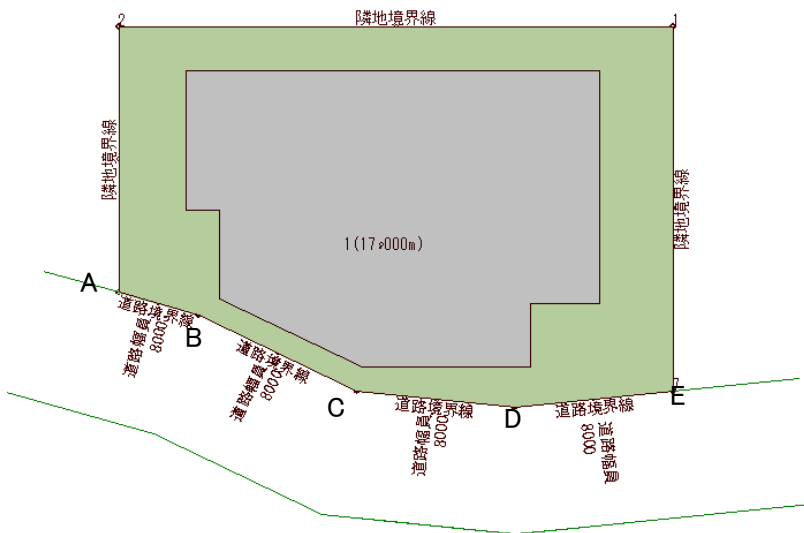


屈曲敷地のグループ化の手法が建築知識9月号において東京都の考え方としてしめされました。TP-PLANNER ではソフト対応を行いました。今回はその考え方および設定方法を解説いたします。



上図のような屈曲敷地の場合の問題点

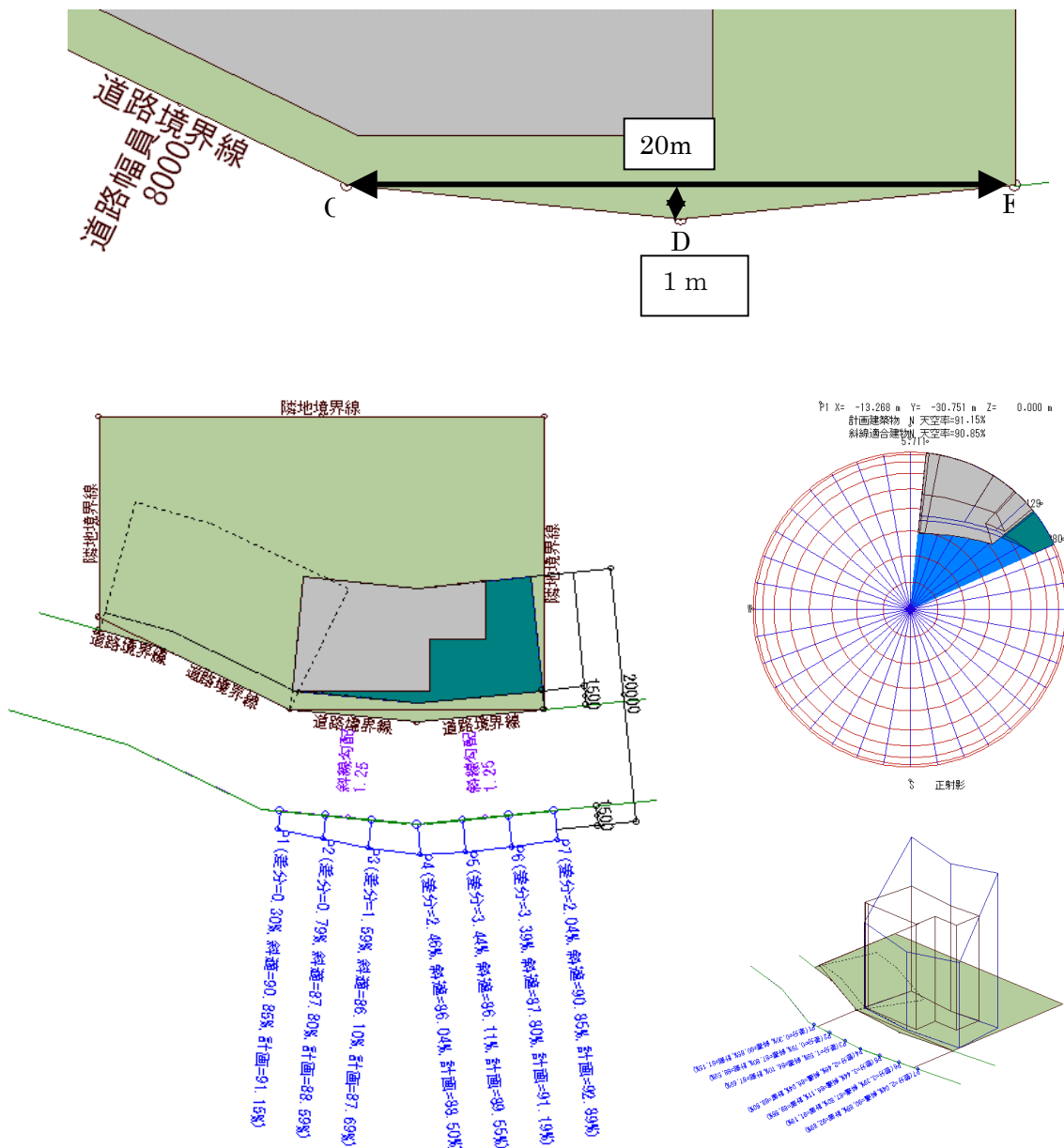
- ① 境界点間がせまく B,C 算定領域の様に適合領域と計画建築物の幅が同一になる場合天空率で高さ制限を緩和する事ができません。道路境界線を一定の基準で広義に解釈し算定領域をまとめる事は可能か？
 - ② 境界線を広義解釈しまとめる場合、屈曲した敷地の場合、凸形境界と凹型境界が考えられますがそれぞれの適合領域の形状と算定位置
- 以上の2点の考え方を解説後、操作設定方法を解説致します。

道路境界線を一定の基準で広義に解釈し算定領域をまとめる事は可能か？

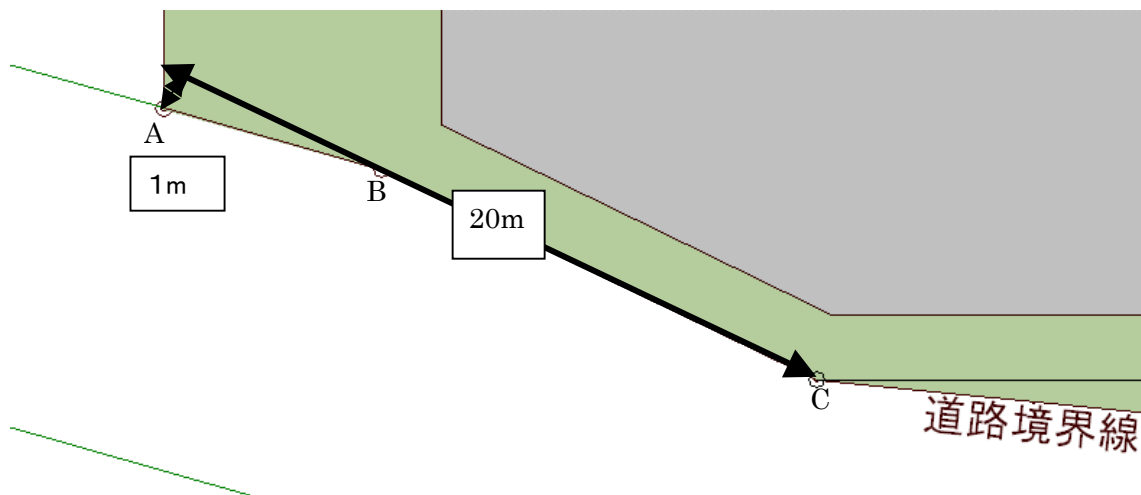
特に直線上に隣地との境界杭がある場合など不合理です。

東京都では現段階で境界点の合計が20m程度の長さにおける屈曲距離が1m以内程度の場合、その境界線をモデル化しまとめる事を可とします。ただし算定位置は本来の算定位置でおこないます。具体例で解説します。

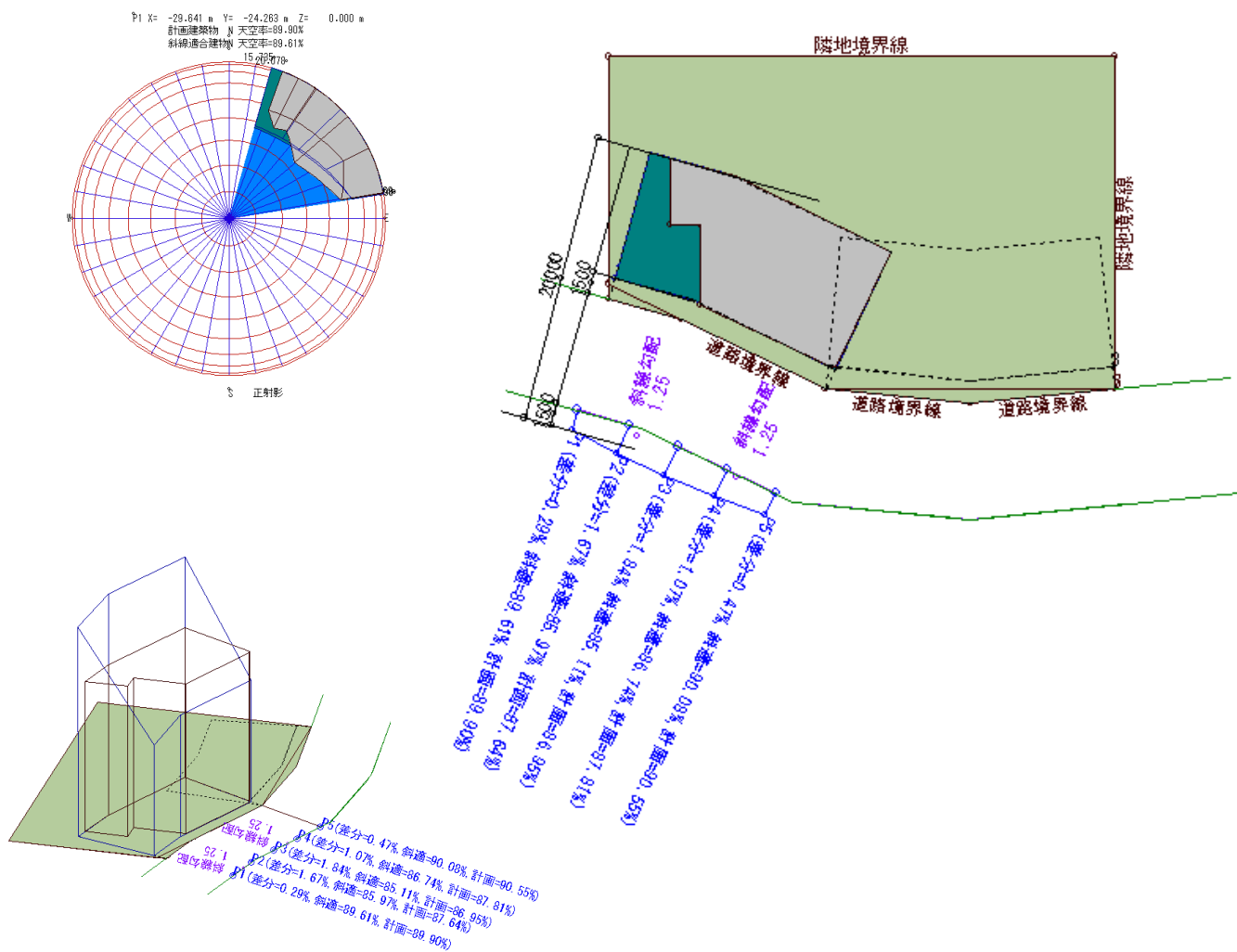
凸型部境界線のグループ化



凸型部のモデル化



凹型部においても上図の様に境界線線が敷地の外側にはみ出る事がない様境界線を延長した際に20m程度の境界長さに対して1m以内程度の幅を有する場合グループ化する事が可能です。



屈曲敷地の設定および計算の操作方法

①「入力」「天空率拡張データ」「天空率用敷地」を選択します。

「入力設定」の「入デバイス」から「他データ変換」を選択します。「敷地を取り込みします、実行しますか」とダイアログが表示されますので「はい」を選択して天空率用敷地に取り込みします。

②同一区間として設定可能な境界線を指定します。
右図では凸型の敷地境界から行います。(まとめる境界線の合計距離は20m程度で屈曲幅が1m程度、まとめてよいかどうかは事前に審査機関に確認してから行います。)



②-1

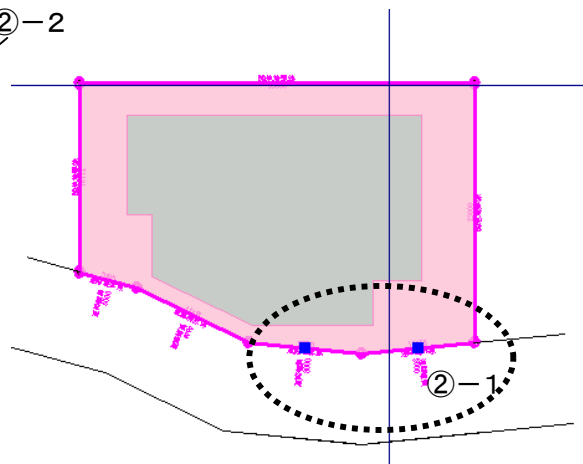
同一に設定したい境界を「SHIFT」キーを押しながら複数選択します。

②-2

「天空率条件入力ダイアログボックス」の「設定」をクリックします。同一区間番号は自動設定されます。



②-2



③-1

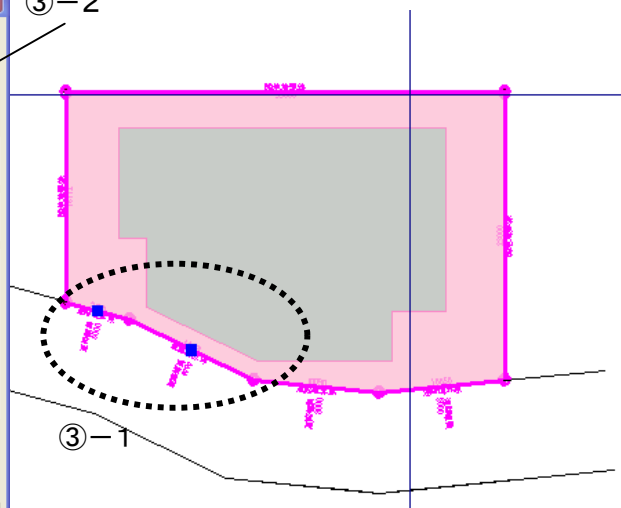
凹型の境界部も同様に選択します。

③-2

「天空率条件入力ダイアログボックス」の「設定」をクリックします。

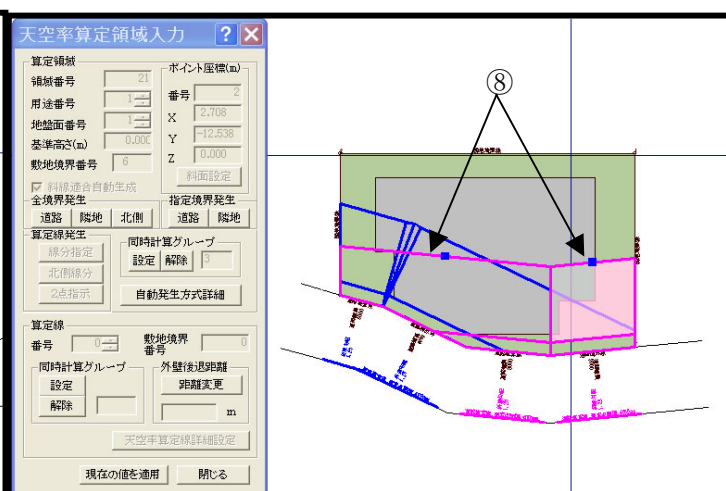
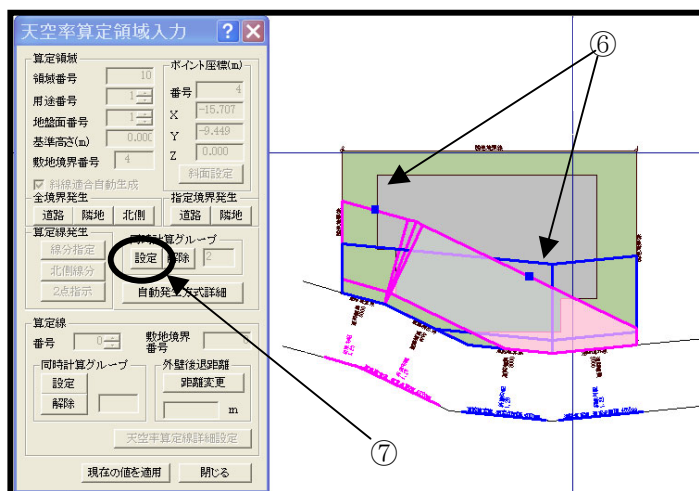
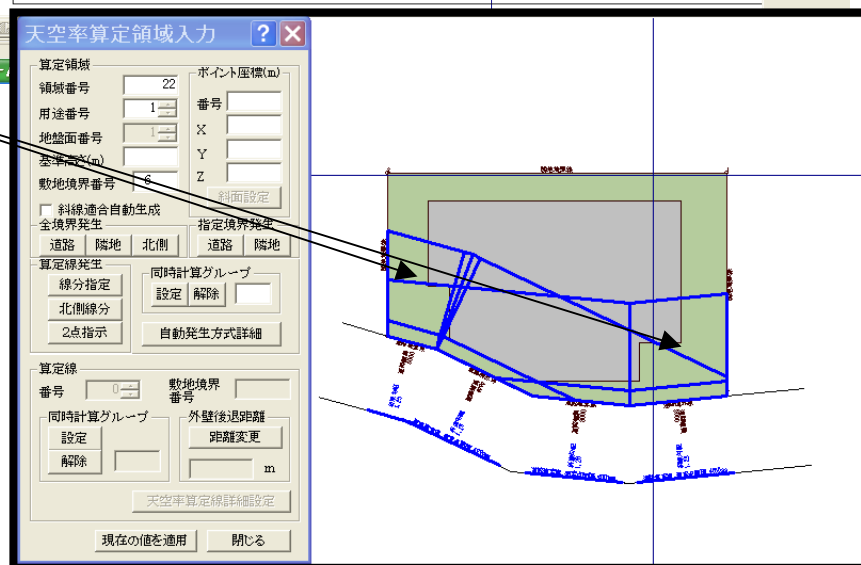
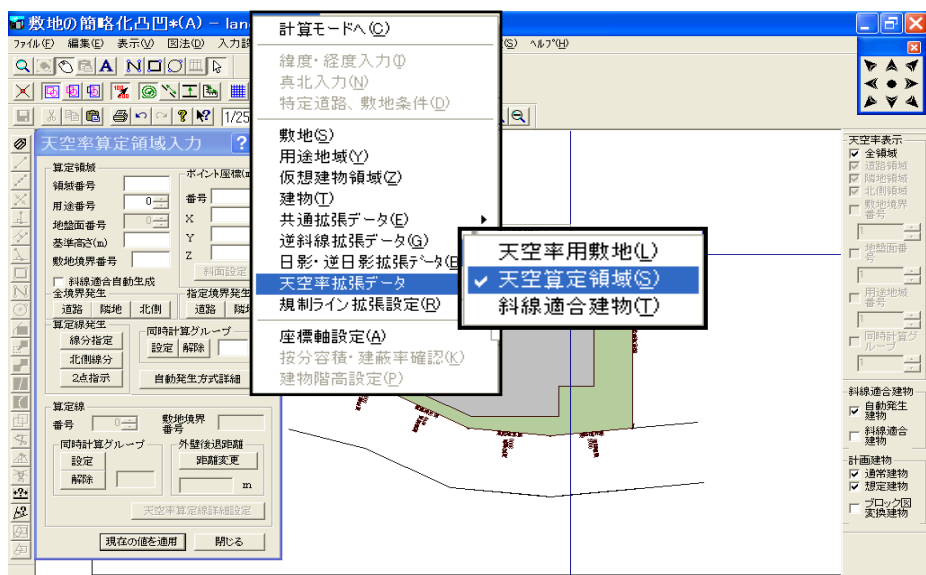


③-2



④「入力」「天空率拡張データ」「天空率算定領域」を選択します。

⑤道路斜線適合領域を発生させる為に「全境界」「道路」ボタンをクリックし右下の様に適合領域を発生させます。前項で同一区間に設定した境界間が接合し(後述する様にさらにグループ設定します。)同一以外の境界に伸びた範囲が自動設定されます。(計算時に自動で垂直切断されます。)ここではさらに同一計算グループの設定を行います。



⑥同一に設定したい適合領域を「SHFT」キーを押しながら複数選択します。(線上あるいは面内をクリックします。)

⑦同時計算グループの「設定」ボタンをクリックします。

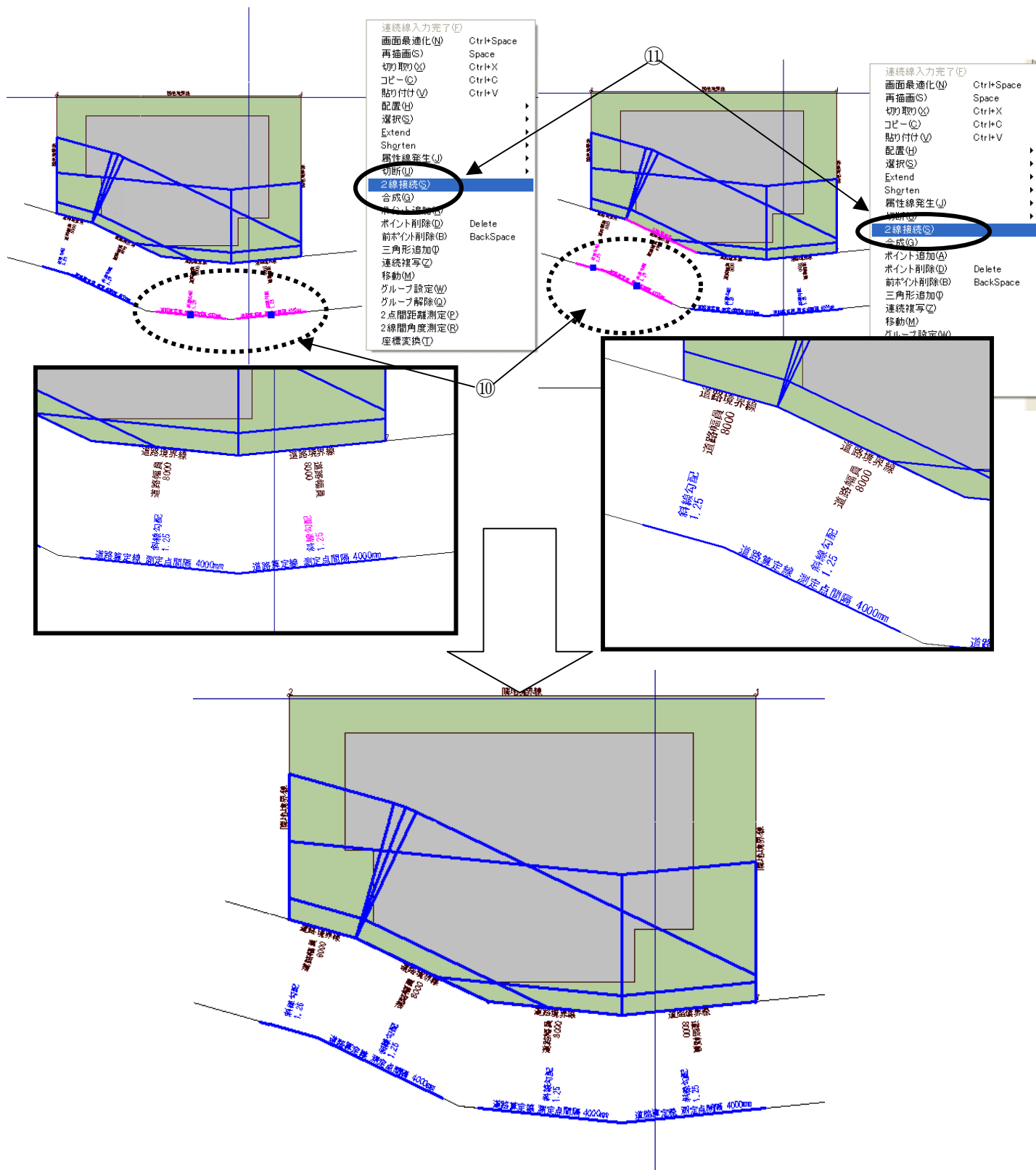
⑧同様に凸部も同一に設定したい適合領域を「SHFT」キーを押しながら複数選択します。

⑨同時計算グループの「設定」ボタンをクリックします。

境界毎に発生した算定線を同時計算グループ毎に接続させます。

⑩同時計算させる境界線を「SHFT」キーを押しながら複数選択します。(凸部と凹部それぞれ行います。)

⑪選択後右ボタンメニューから「2線接続」を選択し接続処理を行います。(凸部と凹部それぞれ行います。)

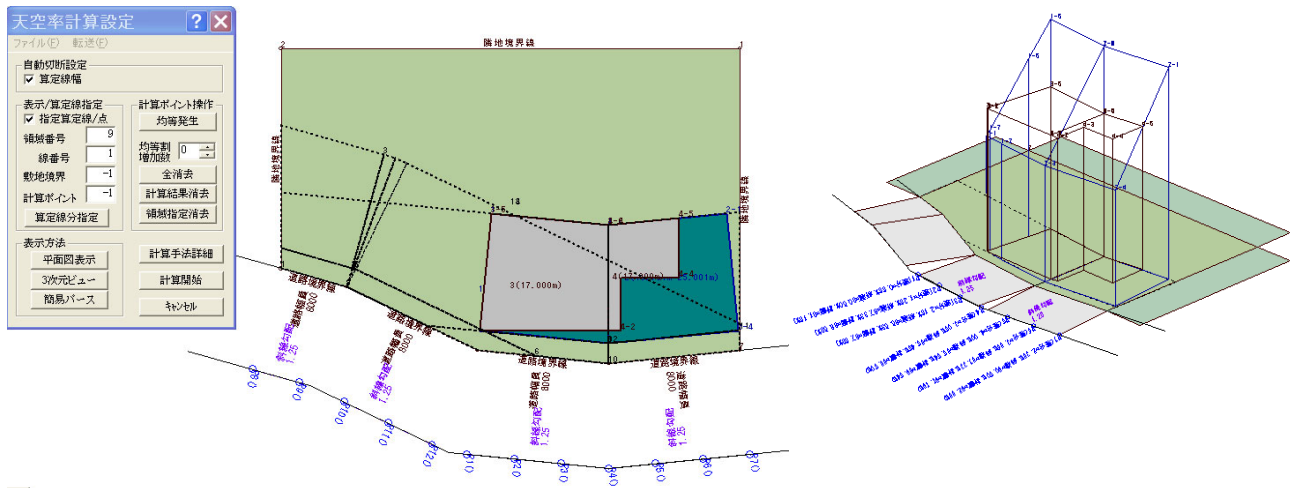


適合領域の設定終了です。他の同時計算グループに伸びた適合領域は天空率の計算時に算定線の端点から垂直にカットされます。

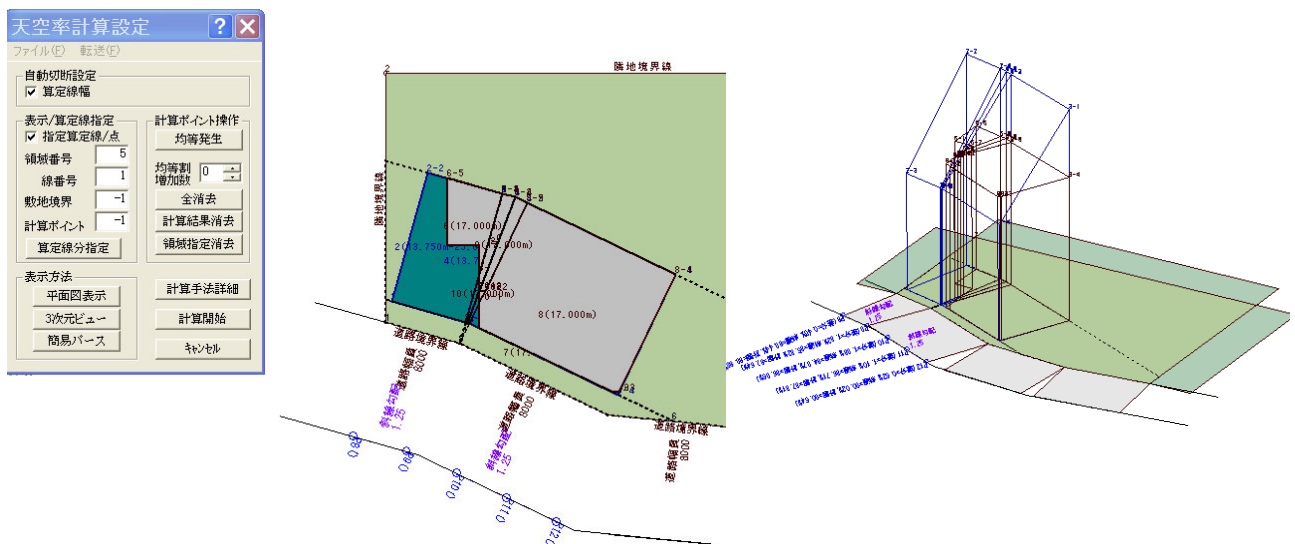
天空率計算を行います。「天空率計算」は通常の解析と同様に行います。）

⑫「計算」「天空率計算」を指示し「天空率計算設定」ダイアログボックスを表示します。

⑬「均等発生」「計算開始」の順に通常通り天空率計算を行います。



凸凹部の算定線分指定を行うとグループ化された適合領域が表示されます。「簡易パース」では立体的に確認する事も可能です。「図法」「天空率算定チャート」では「断面図表示」で断面が作図可能です。



* 天空率計算設定ダイアログボックスが表示されている場合、画面右端には「天空率表示」の「全領域」のチェックを解除後「同時計算グループ」をチェックし算定線を確認する事が可能ですがグループ化前の算定線情報を保存する必要から本例の場合 1 から4までが空番になり 5、6がそれぞれの境界グループとして表示されます。